

【別添資料】

令和4年度
学 校 評 価



沖縄県立八重山特別支援学校

〒907-0243 沖縄県石垣市字宮良7 7 番地

Tel 0980-86-7345

Fax 0980-86-8113

【幼小中高】 n = 44/49 令和4年度学校評価 自己評価【各学部】 （ Aできた Bほぼできた Cあまりできなかった Dできなかった ）												
重点目標		具 体 的 方 策	A	B	C	D	A	B	C	D		
1 教育目標	全職員が一致協力して教育目標の具現達成に努める	①学校教育目標、学部教育目標の達成を目指して日頃の教育実践を展開している。	11	33	0	0	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%		
2 教育計画	実態と学習指導要領等を踏まえた教育課程の編成	①幼児児童生徒の実態を考慮して適切に教育課程を編成している。	7	33	3	1	15.9%	75.0%	6.8%	2.3%		
3 指導の充実	個別的教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行支援計画の作成と指導実践	①幼児児童生徒の実態や学習経験等を考慮し、適切に年間指導計画（シラバス）を作成している。	9	31	4	0	20.5%	70.5%	9.1%	0.0%		
		②保護者と連携し、教育的ニーズを反映した個別的教育支援計画、個別の指導計画、移行支援計画を作成し、活用している。	18	23	3	0	40.9%	52.3%	6.8%	0.0%		
		③分かりやすい授業の創意工夫を図るとともに、主体的・対話的で深い学びなどの授業改善に取り組んでいる	13	27	4	0	29.5%	61.4%	9.1%	0.0%		
		④特性による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服することを目標に、教育的ニーズに対応した自立活動の指導を行っている。	16	23	5	0	36.4%	52.3%	11.4%	0.0%		
		⑤PDCAを意識した授業実践に取り組んでいる	11	26	6	1	25.0%	59.1%	13.6%	2.3%		
		⑥情報機器を適切に活用した指導を行っている。	17	19	8	0	38.6%	43.2%	18.2%	0.0%		
4 総合的な学習・探求	学校・地域の特色を生かし総合的な学習・探求の充実を図る	①児童生徒の実態にあった目標、指導内容になっている。	12	28	3	0	27.3%	63.6%	6.8%	0.0%		
		②学校・地域の特性を生かすと同時に、児童生徒が自らの課題を解決できるように工夫し教育実践を行っている。	10	28	5	0	22.7%	63.6%	11.4%	0.0%		
5 特別活動	集団活動を通して社会性を養い望ましい人間関係を育てる	①幼児児童生徒会（あおぞら会）活動が幼児児童生徒の実態に即しており、充実している。	10	25	8	1	22.7%	56.8%	18.2%	2.3%		
		②各行事のねらいが効率的・効果的に達成されるよう、活動内容の共通理解が図られ、実施されている。	8	32	4	0	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%		
6 生徒指導	発達段階や特性に応じて基本的生活習慣を身につけさせると共に好ましい人間関係を確立する	①家庭や関係機関と連携して、幼児児童生徒の指導を実践している。	21	20	3	0	47.7%	45.5%	6.8%	0.0%		
7 健康安全指導	健康安全に対する対策を徹底し、安心して教育活動ができる教育環境の整備	①幼児児童生徒にとって安全な学習環境が提供できるよう日頃から取り組んでいる	23	20	1	0	52.3%	45.5%	2.3%	0.0%		
		②養護教諭と連携し、幼児児童生徒の健康管理と安全指導を行っている。	22	22	0	0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
		③幼児児童生徒の安全を守るため各訓練（不審者、避難訓練等）、安全点検を適切に行っている。	27	15	1	0	61.4%	34.1%	2.3%	0.0%		
8 進路指導	生活経験の拡大と自立した社会生活への対応	①卒業後の進路に興味・関心を持ち、見通しを持たせるための進路相談や企業・施設見学会が適切に実施されている。	7	24	12	1	15.9%	54.5%	27.3%	2.3%		
		②進路の情報が保護者や職員間に適切に共有されている。	4	23	16	1	9.1%	52.3%	36.4%	2.3%		
9 キャリア教育	「学ぶこと」「働くこと」に関連付けながら「生きること」や「社会的自立・職業的自立」に向けた教育と捉え、充実を図る	①学校や幼児児童生徒の実態を踏まえたキャリア教育全体構想図やキャリア・リンク・マトリクスを活かすなど、「キャリア教育」の視点を取り入れ授業を進めている。	2	32	10	0	4.5%	72.7%	22.7%	0.0%		
		②キャリアパスポートを活用し児童生徒が自信の変容や成長を自己評価できるように取り組んでいる。	8	28	7	1	18.2%	63.6%	15.9%	2.3%		

10	社会に開かれた教育課程	地域と連携し、地域の資源を活用し開かれた学校教育の展開	①学校（居住地校を含む）や地域と連携し、計画的に交流及び共同学習や地域との交流活動を実践している。	17	23	4	0	38.6%	52.3%	9.1%	0.0%
			②学校は、社会に開かれた教育課程・教育活動を展開している。	5	36	3	0	11.4%	81.8%	6.8%	0.0%
11	研究研修	実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	①資質向上に繋がる研修等を計画し積極的に取り組んでいる。	9	31	3	1	20.5%	70.5%	6.8%	2.3%
12	環境美化	施設設備の管理と潤いのある環境整備	①緑化事業計画を基に環境整備、美化活動に取り組んでいる。	17	23	4	0	38.6%	52.3%	9.1%	0.0%
13	家庭関係機関との連携	保護者、寄宿舎、専門機関、関係機関と連携した教育実践	①家庭との連携（子どもの様子に係る情報交換、個別の教育支援計画、個別の指導計画の共通理解等）が図られている。	26	15	3	0	59.1%	34.1%	6.8%	0.0%
			②関係機関との連携（ケース会議、情報交換等）が図られている。	19	23	2	0	43.2%	52.3%	4.5%	0.0%
14	職員連携	職員相互の連携を図り、健全な職場環境の構築	①報・連・相を意識し、全教職員が連携して教育活動を推進している。	15	24	5	0	34.1%	54.5%	11.4%	0.0%
			②勤務上の課題や悩み等に関して相談し合える職場環境になっている	13	22	6	3	29.5%	50.0%	13.6%	6.8%
15	いじめ・人権	人権侵害防止の取り組み	①日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に努めている。	18	23	2	0	40.9%	52.3%	4.5%	0.0%
			②児童生徒の人権を侵害するような言動にならないように気をつけている。	26	18	0	0	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%
16	その他	業務改善	①授業で用いるプリントなどの教材の共有を図ったり、各種校務の効率化を進めたりするなど、業務改善に取り組んでいる	15	27	2	0	34.1%	61.4%	4.5%	0.0%
			課題・要望								
2	教育計画	実態と学習指導要領等を踏まえた教育課程の編成	①3観点の目標設定、評価は特別支援学校の教育に合わない ②一部、合っていないように感じる。新しく教育課程を作ることになると思うが（たち歩きが多い）、教科中心より自活をもう少し入れてあげても良いのかと感じる。 【回答】 ①小中高等学校指導要領、また、特支(知的)の各教科の目標、内容のすべてが育成を目指す資質・能力の三つの柱で整理されているので、その目標に向かって授業を行い、どの程度達成されているのかを評価するようになっています。今一度、指導要領の各教科の目標を見直し、生徒の指導段階や評価について文科省や各種書籍等で知見を深めてみてください。 ②教育課程の何が合っていないからなのか文面だけでは読み取れませんが、自活の時間は学習上・生活上の困難さを改善するためには自活の時間が何時間必要なのかという視点で時数を検討してください。								
3	指導の充実	個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行支援計画の作成と指導実践	①肢体不自由や聴覚障害に関する支援指導に関して、経験のある先生が少なかったり、研修とか情報共有とかをする場面もなかったりするので、何か改善できる方法があれば良いと思います。 ②3観点の目標設定、評価は特別支援学校の教育に合わない ③年計をたびたび見返して授業をするようにはしているが、それをたびたびフィードバックするシステムが週案だと思う。機能してるか疑問。 ④情報機器を入れてはいるが、もう少し生徒が主体的に動いて「発信」できるようになりたい。 ⑤学習活動に直接かわりかわりのない、煩雑な業務が多い。創意工夫の芽が摘まれていると感じる。職員の問題ではないし、校内の問題ではないが、そうした実態をもっともって外部に知らせるべき。 ⑥情報機器の活用については環境の問題が大きい。動画共有サイトを5～6名で聞いただけで、遅延が生じる状況は教員の努力ではどうにもならない。月に数度しか来ない支援員をつけたとしてもどうにもならない。 【回答】 ①肢体不自由、聴覚障害の生徒を担当する先生には他の学校への視察等を検討していきます。 ⑥ネット回線の遅さは県も十分承知していて、各校から改善要望が出ているようです。改善にはしばらくかかりそうです。								

4 総合	学校・地域の特色を生かし総合的な学習・探求の充実を図る	・買い物学習、修学旅行と外に出られたのは良かった。
5 特活	集団活動を通して社会性を養い望ましい人間関係を育てる	・もう少しあおぞら役員会を持てるだけの余裕がほしい。生徒自身、「自分で何かがしたい」と積極的になってほしい。
7 健康安全指導	健康安全への対策を徹底し、安心して教育活動ができる教育環境の整備	・空調機器やエレベーターなどに代表されるような、健康・安全に重要な機器の故障が非常に多い。そのたびに「部品が取り寄せのため」修繕に週間単位でかかる。学校側・業者側の努力では限界があるのは十分理解できるので、複数の県立学校合同で行政に何らかの対応を要望できないか（部品のストック基地を整備するなど）。 【回答】 ・業者の部品を県がストックするのはかえって費用がかかり現実的ではないと思いますが、老朽化している設備の改善は今後も施設課へ要望していきます。
8 進路	生活経験の拡大と自立した社会生活への対応	・ここ数年、卒業生の進路先を知る場面が減っているように思います。保護者から進路に関する質問があった時も答えられなかったのが、情報共有ができると嬉しいです。
9 キャリア教育	「学ぶこと」「働くこと」に関連付けながら「生きること」や「社会的自立・職業的自立」に向けた教育と捉え、充実を図る	・キャリアパスポートの、学習指導要領上の位置づけがはっきりしないまま導入された。手探りながらも学級職員の努力でどうにかできていると思う。 【回答】 ・新学習指導要領の中にキャリアパスという文字は出てこないと思いますが、特別活動において、「学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う」際に、児童生徒が「活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」とされており、これがキャリアパスポートになります。特支は児童生徒の実態によっては支援計画や指導計画の記載を持ってキャリアパスの代用も可能となっていますが、自らの学習状況やキャリア形成を振り返ったり自己評価に繋がる記載になっているのが問われてきます。当面はキャリアパスの目的を鑑みて工夫しながら取り組みをお願いします。
10 社会に関わった教育	地域と連携し、地域の資源を活用し開かれた学校教育の展開	・地域からの、学校に対する様々なニーズは理解できる。しかし学校の規模からみても、「在籍している児童生徒に対する」通常の教育活動を行うだけで精一杯であることを理解してもらう必要があるのではないかと。 【回答】 ・巡回相談を行っている先生方の負担は大きいと思いますが、地域への貢献は大きいものがあり、各学校からの報告の中にも多くの謝意が記されています。市町村の教育委員会もそれぞれで研修を行い、特別支援教育のレベル向上に努力しているところですが、それだけでは不十分のため、特別支援のセンター校的役割を本校に期待されていることが多く、巡回の依頼を萎縮させるようなことは地域の支援を要する子ども達のためにもふさわしくないと考えています。
11 研修	実態に合った指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	・もらった知識を自分の中に落とし込むだけの時間がほしい。
15 いじめ・人権		・学部全体で生徒によく目が行き届いていると思う。 【回答】 ・若干名ですが学校でいじめがないと思っていない(誤認識の可能性もあり)生徒もいるので、これからも注意深くみてください。

令和4年度 学校評価 自己評価（寄宿舍）

n=10/12

Aできた Bほぼできた Cあまりできなかった Dできなかった

重点目標			具体的方策				A	B	C	D	A	B	C	D
指導目標	1	寄宿舍運営の指導目標の設定意義と手順	職員全員が指導目標を理解し、達成に向けて相互の協力体制を図っている。				9	1	0	0	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	2	基本的な生活習慣を育む指導	舎生の実態に即した基本的な生活習慣を身につけることができる日課が設定されている。				9	1	0	0	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
舎生への指導	3	年間行事計画の設定	舎生の自主性、社会性を育む行事が年間を通して適切に設定されている。				8	2	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	4	個別の生活指導計画の設定	舎生の発達段階に応じた課題を捉え、個々の生活目標に沿った指導を行っている。				8	2	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	5	いじめ防止	日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に努めている。				9	1	0	0	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	6	人権意識の育成	児童生徒および教職員の人権を侵害するような言動にならないように気をつけている。				9	1	0	0	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
			生徒の人権意識の育成を図るような取り組みを行っている。				6	4	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	7	自治活動の充実	各係の活動・日直活動などが適切に設定され、主体的に舎生が取り組んでいる。				7	3	0	0	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
舎生の活動	8	余暇活動の充実	舎生の実態に合わせて活動内容が設定されている。				8	2	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	9	舎生の健康管理	日常生活において常に健康、安全に心掛ける習慣や行動ができるように指導している。				8	2	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
保健安全舎食	10	緊急時の対応	緊急時(舎生の病気、事故、不審者対策)の体制は整備されている。				7	3	0	0	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	11	災害時の対応	災害時(火災、地震、津波)の体制は整備されている。				8	2	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	12	舎食の充実	委託業者と連携を取り、適切な舎食が実施されている。				6	4	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	13	安全点検の徹底	舎内外の危険箇所の発見に努め、安全な環境作りをおこなっている。				8	2	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	14	家庭・学級担任等との連携	指導目標達成のため、家庭・学級担任・関係部署、関係機関と連携するよう努力している。				8	2	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
連 携	15	寮務主任との連携	寮務主任との連携を密にし、学校と寄宿舍の連携が取れている。				9	1	0	0	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	16	舎監との連携	舎監と連携し、舎生の日頃の指導体制を確立することができる。				6	4	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	17	職員相互の連携、健全な職場環境の構築	報・連・相を大切にし、全教職員が連携して教育活動を推進している。				8	2	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
			危機管理において全職員が連携し、さ（最悪を考えた）し（慎重に）す（速やかに）せ（誠意をもって）そ（組織的に）対応している。				7	3	0	0	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
			教材・教具や備品が適切に管理され、活用されている。				6	4	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
研究研修	18	実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	資質向上に繋がる研修等を計画し積極的に取り組んでいる。				5	4	1	0	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%

令和4年度学校評価 自己評価【養護・栄養・司書・事務・現業】（ Aできた Bほぼできた Cあまりできなかった Dできなかった ）
n = 9/11

重点目標		具 体 的 方 策	A	B	C	D	A	B	C	D
1 教育目標	全職員が一致協力して教育目標の具現達成に努める	①教育目標達成に向けて意欲的に取り組んでいる。	4	5	0	0	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
2 人権	人権侵害防止の取り組み	①児童生徒の人権を侵害するような言動にならないように気をつけている。	6	3	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
3 業務の遂行	適切な業務の遂行	①適切な手続きを経て予算執行、会計業務が行われている。	4	4	1	0	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
		②物品の管理は適切に行われている。	4	2	3	0	44.4%	22.2%	33.3%	0.0%
4 環境美化	施設設備の管理と潤いのある環境整備	①幼児児童生徒にとって安全な学習環境が提供できるよう日頃から環境整備に取り組んでいる。	4	4	1	0	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
5 関係機関との連携	各部署、保護者、寄宿舍、専門機関、関係機関との連携	①必要に応じて関係部署との連携(ケース会議、情報交換等)が図られている。	5	4	0	0	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
6 職員連携	職員相互の連携を図り、健全な職場環境の構築	①報・連・相を大切にし、全教職員が連携して教育活動を推進している。	4	4	1	0	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
		②勤務上の課題や悩み等に関して相談し合える職場環境になっている	2	7	0	0	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
7 危機管理	危機管理体制の整備	①幼児児童生徒の安全を守るため、緊急時(火災、地震、津波、事故、不審者)の体制は整備されている。	1	2	0	0	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%

令和4年度 学校評価（児童生徒アンケート）

このアンケートは、私たちの学校を楽しく充実したものにすることに行っています。
それぞれの項目について当てはまるところに○印をつけて下さい。

A：そう思う B：ほぼそう思う C：そう思わない D：わからない

n=37/64

【 】

	評価項目	A	B	C	D	A	B	C	D	合計
1	学校へ行くのは楽しいですか。	30	4	1	2	81.1%	10.8%	2.7%	5.4%	100.0%
2	授業はわかりやすいですか。	24	8	1	3	64.9%	21.6%	2.7%	8.1%	97.3%
3	友達と仲がよいですか。	30	5	0	2	81.1%	13.5%	0.0%	5.4%	100.0%
4	学校ではいじめがないですか。	25	6	3	2	67.6%	16.2%	8.1%	5.4%	97.3%
5	学校ではみんなが元気にあいさつをし、明るく楽しい雰囲気ですか。	25	9	0	1	67.6%	24.3%	0.0%	2.7%	94.6%
6	ともだちの言葉づかいはていねいですか。	22	9	2	2	59.5%	24.3%	5.4%	5.4%	94.6%
7	先生の言葉づかいはていねいですか。	24	8	0	2	64.9%	21.6%	0.0%	5.4%	91.9%
8	運動会や八特祭、遠足等の学校行事は楽しいですか。	30	4	0	1	81.1%	10.8%	0.0%	2.7%	94.6%
9	気軽に相談できる先生がいますか。	27	3	0	4	73.0%	8.1%	0.0%	10.8%	91.9%
10	先生は、わからないところをていねいに教えてくれますか。	29	5	0	0	78.4%	13.5%	0.0%	0.0%	91.9%
11	先生は、よくほめたりはげましてくれたりしますか。	27	6	1	0	73.0%	16.2%	2.7%	0.0%	91.9%
13	パソコンやアイパッド、スマホの学習は役に立つと思いますか。	28	4	0	1	75.7%	10.8%	0.0%	2.7%	89.2%
14	先生は、学校を卒業後のことや大人になったときのことをよく話してくれますか。	25	5	0	3	67.6%	13.5%	0.0%	8.1%	89.2%
15	授業をうけたことで「わかったこと」や「できること」がふえたと おれ 思いますか。	25	8	0	0	67.6%	21.6%	0.0%	0.0%	89.2%
16	火事や地震の時、どうしたらいいかわかりますか。	27	5	1	0	73.0%	13.5%	2.7%	0.0%	89.2%

※学校へおねがいしたいことをかいてください。

- ①こくごをがんばる
- ②体育＆作業がない日は制服で過ごしたいです。お願いします。
- ③アイパッドをもつてかえってつかいたい。
- ④アイパッドをもつてかえってもいいですか。もつてかえってYoutubeをみたいです！
- ⑤パソコンできょうりゅうを見たいです。
- ⑥おもしろい
- ⑦作業棟2Fへつなぐ通路を増やしてほしいです。（車いすの生徒が、気軽に通れるため）
- ⑧ピクトグラムがある学校にしたいです。
- ⑨学校内に自然をバックにできるアスレチックや、遊び場などを設置し、新未来をつくってほしい！

【学校からの回答】

- ②普段は制服で過ごして、必要に応じて着替えましょう。
- ③④⑤iPadは授業で使うので無くなったり忘れったりしないように学校で保管します。宿題などで家で使うときには先生と相談してください。
- ⑦⑧⑨学校を良くするアイデアをありがとうございます。検討してみますね。これからも気がついたことがあれば教えてください。

令和4年度 学校評価（保護者アンケート）

この調査は学校の経営・運営及び教育活動をより充実したものにするための資料とするものです。

それぞれの項目についてA～Dのうち、あてはまる欄に○印をつけて下さい。分からないことについては解答しなくてもかまいません。

A：そう思う B：ほぼそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

n=36/64

【 幼 小 】

評 価 項 目		A	B	C	D	A	B	C	D	合計
1	学校は保護者と共に個別の教育支援計画を作成し、幼児児童生徒一人一人の特性や発達段階に応じた教育を行っている。	29	7	0	0	80.6%	19.4%	0.0%	0.0%	100.0%
2	学校は保育授業参観や学校行事、ホームページ等を通して学校の教育活動内容の発信に努めている。	24	10	1	0	66.7%	27.8%	2.8%	0.0%	97.2%
3	学校は保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なうよう努力している。	29	7	0	0	80.6%	19.4%	0.0%	0.0%	100.0%
4	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	32	4	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
5	担任は幼児児童生徒の実態をよく理解している。	29	6	0	0	80.6%	16.7%	0.0%	0.0%	97.2%
6	幼児児童生徒の学習成果を適切に評価し、伝えている。	32	4	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
7	学校は進路について適切な指導を行っている。	28	6	0	0	77.8%	16.7%	0.0%	0.0%	94.4%
8	学校は幼児児童生徒や保護者の相談等に適切に対応している。	29	6	1	0	80.6%	16.7%	2.8%	0.0%	100.0%
9	学校はいじめや不登校の防止・対応をしている。 ※いじめ(防止基本方針の制定(学校HP参照))	25	5	0	0	69.4%	13.9%	0.0%	0.0%	83.3%

※学校へ要望事項及び意見・改善策等を記入して下さい。

①昨年から学校の雰囲気が変わって、以前のような八特が戻ってきた気がします。コロナについてのいろいろなことが整ってきたこともあり、また家族で八特に遊びに行けるような行事が増えてくれたら良いと思います。

②兄弟を含めて八特を見ると、理解につながるので、機会があれば良いと思います。

③定期的に「〇〇の日（〇〇には児童名が入ります）」を作っていただき、ありがとうございます。掲示物も作っていただいて、みんなに知ってもらえて嬉しいです。栄義士の先生をはじめ、関わっていただいている先生方、ありがとうございます。（〇〇の日とは、普段給食を摂っていない児童が食べられるメニューの日にみんなと一緒に給食を摂る日のことです）

④学校の評価はとても良いと思います。登校時、迎えの時に小学部～高等部の先生方のあいさつ、声かけが親まで嬉しくなります。

⑤学校に通う子ども達は、一人一人障害は違うなかでの対応はいろいろあると思います。私の子どもは聴覚障害を持っています。石垣で、子どもの聴覚障害は少ないです。本島にろう学校という専門の学校はありますが、家庭の事情ですぐには難しいです。同じ県立なのでろう学校での知識のある先生が希望です。そういう気持ちになったのも、幼稚園から八重山特別支援学校で学び、一人で歩けず、トイレも難しく、学校へも行きたがらなかったのに、先生達の支援のおかげで大きく成長でき、感謝しています。コロナの時期なのに、子ども達が喜ぶイベントを開催していただき、ありがとうございました。

⑥いつもありがとうございます。毎日楽しく学校に通えていることが、親にとってとってもとっても幸せな事だと思います。

⑦行き過ぎた誤指導によって、敏感な繊細な子は生涯に渡ってフラッシュバック等で苦しめられます。いろいろな特性の子どもたちが通っていて、指導の大変さも理解できますが、肉体的・精神的苦痛を与えるような誤指導はやめてほしいです。又、誤指導のあった先生の適切な研修等もお願いします。

⑧私自身が初めてなので、日用品等領収証を添付しての申請等がよく分かってないです。

⑨仕方ないこととは思いますが離島から通う生徒の負担が大きいです。金額やイベント、PTA行事など色々参加しづらいですが仕方ないと思います。が、修学旅行前に4日も親せきの家に預けるのもとしんどかったです。

⑩いつも楽しく学校生活過ごしているようです。ありがとうございます。

⑪1人1人の特性に合わせてとても細やかに対応して下さい。大変助かっています。ありがとうございます。

【学校からの回答】

①PTA行事として「八特愛ランド祭」を開催いたしました。たくさんの家族に参加いただき、魚釣りやボウリングなどの手作りゲームを楽しんでいただきました。いろんな場所で笑顔が見られて好評でした。次年度も開催予定ですので一緒に作り上げていきましょう。

②コロナ禍ということもあり、授業参観では人数制限をもうけていましたが、屋外での参観などは徐々に緩和しております。今後は室内での授業参観も緩和していきます。

⑤ろう学校自体の職員数が少ないこともあり、なかなか人事異動は思うようにはいきませんが、職員同士で手話の学習をしたり、ろう学校への視察などで指導について学んでいるところです。今後も聴覚障害教育の向上に取り組んでいきたいと思っています。

⑦子どもの人権については全職員に研修を行い、体罰防止や自閉症の認知特性について確認をおこないました。今後も、全職員で人権や障害特性についての理解を深める研修をしていきたいと思っています。

⑧事務手続きについて分からないことがあれば遠慮無く本校の事務にお問い合わせください。

⑨配慮不足をお詫びいたします。次年度のPTA行事は離島からも参加しやすいよう日程を調整中です。

③④⑥⑩⑪ 高い評価をいただきありがとうございます。子供の育ちを支えていくには学校だけでは不十分です。今後も保護者、学校の連携を密にし、共に幼児児童生徒の成長を支えていきましょう。

令和4年度 学校評価(入舎生保護者アンケート) n=9/17

この調査は学校の経営・運営及び教育活動をより充実したものにするための資料とするものです。
それぞれの項目についてA～Dのうち、あてはまる欄に○印をつけて下さい。分からないことについては解答しなくてもかまいません。

A: そう思う B: ほぼそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	寄宿舎では、子どもの基本的な生活習慣の確立や個々の自立に向けて適切な指導が行われている。	8	1	0	0
2	寄宿舎は、寄宿舎参観や寄宿舎通信、ホームページなどで寄宿舎の情報を発信することに努めている。	9	0	0	0
3	寄宿舎は、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行うよう努力している。	8	1	0	0
4	係、日直活動(など)が適切に設定され、舎生が主体的に取り組んでいる。	8	0	0	0
5	舎生は、舎生活を楽しんでいる。	9	0	0	0
6	寄宿舎の職員は、舎生の実態をよく理解し、(親身になって接し)ている。	9	0	0	0
7	災害時の舎生の安全の確保のために、訓練や指導がしっかり行われている。	8	0	0	0
8	寄宿舎の職員は、舎生や保護者の相談等に、適切に対応している。	8	1	0	0

※学校へ要望事項及び意見・改善策等を記入して下さい。

特になし

この調査は学校の経営・運営及び教育活動をより充実したものにするための資料とするものです。
 それぞれの項目についてA～Dのうち、あてはまる欄に○印をつけて下さい。分からないことについては解
 答しなくてもかまいません。

A：そう思う B：ほぼそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

n = 3 / 5

【 幼 小 】

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	本校の教育目標・学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	2	1	0	0
2	本校の教育実践・学校は教育課題について適切に取り組んでいる。	3	0	0	0
3	本校の健康・安全・学校は健康・安全教育に取り組んでいる。	3	0	0	0
4	本校の環境美化・学校は校舎内外の環境美化に努めている。	3	0	0	0
5	本校の進路指導・学校は適切な進路指導に取り組んでいる。	2	1	0	0
6	本校の地域との連携 ・学校は地域と連携し、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	2	1	0	0

※学校へ要望事項及び意見・改善策等を記入して下さい。

- ・コロナの状況もおさまりつつあるのでぜひ地域との交流を活発にし、八重山の特別支援教育のセン
ターとして頑張ってください。
- ・特別支援学校の教育方針を地域と共有して欲しい。
- ・進路指導について保護者の理解を深めるような取り組みを。
- ・地域のニーズの掘り起こし

令和4年度八重山特支学校評価のまとめ

1 評価結果の考察

高評価 ……自己評価において「A達成できた」「Bほぼ達成できた」が8割以上

低評価 ……自己評価において「Cあまり達成できなかった」「D達成できなかった」が
2割以上

(1)自己評価(本校職員による評価)

① 各学部用 アンケート数 n=44/49

高評価の項目数 28/31

- 「3指導の充実」の結果からは、前年度同様、保護者と連携して個別の支援計画、指導計画を作成している事がうかがえる。

低評価の項目数 3/31

- 8進路指導:①卒業後の進路に興味・関心を持ち、見通しを持たせるための進路相談や企業、施設見学会が適切に実施されている。②進路の情報が保護者や職員間に適切に共有されている。

⇒ 今年度は高等部全学年で就業体験を実施。ハローワークや事業所、企業との情報交換等も活発に行っているが、高3生の現場実習が頻繁に行われたこともあり、職員への情報の提供が不足気味であった。

- 9キャリア教育:①学校や幼児児童生徒の実態を踏まえたキャリア教育全体構想図やキャリアプランニング・マトリックスを活かすなど「キャリア教育」の視点を取り入れ授業を進めている。

⇒ 一部共通理解が不足していると感じている職員がいるので、全体への再周知を行っていきたい。

②寄宿舍用 n=10/12

低評価なし

- ほとんどが高評価である。個別の生活指導計画を活用し、舎生の特性に合わせ、

卒業後の生活を見据えた支援・指導を行っている。いじめ防止、人権意識の育成についても学部と連携をとりながら、舎生に合わせて指導を行っている。

③養護・栄養・司書・事務・現業用 n=9/11

質問項目9問中、1問が低評価。

3業務の遂行②物品の管理は適切に行われている。

⇒備品管理が不十分な物があった。帳簿を確認しながら備品のチェックを実施している。

(2)児童生徒アンケート n=37/64(小5名、中13名、高19名)

- 質問項目16問中、16問において高評価。今年度もコロナ禍で様々な活動が制限されたが、できる活動を工夫し、楽しく充実した授業が展開されていると考えている。また、教師への好意的な評価も多く、よい関係性が構築されていると推察される。概ね良い評価が多いがネガティブな回答をしている生徒も若干名見られる。友だちとの関係、家族の悩みなどを抱えている生徒もいるので、個別に担任、学部で対応したり、スクールカウンセラーとの面談等での対応を行ったりしている。また、担任が生徒間の関係をよく把握しており、個別的な対応を学年、学部との情報共有を図って丁寧に対応している。

(3)保護者アンケート n=36/64

高評価・・・自己評価において「Aそう思う」「Bほぼそう思う」が8割以上

- 質問項目9問中、9問において高評価であった。特に「7子どもたちは、楽しく学校に通っている」「幼児児童生徒の学習成果を適切に評価し、伝えているが9割近くの評価を得ており、教師と児童生徒、または友人関係が良好なことがうかがえる。

低評価・・・自己評価において「Cあまりそう思わない」「Dそう思わない」が2割以上

- 低評価の項目はないが、聴覚障害教育への充実や自閉症など障害特性に応じた教育の充実を求める要望があった。

(4)寄宿舍保護者アンケート n=9/17

高評価・・・自己評価において「Aそう思う」「Bほぼそう思う」が8割以上

- 質問項目すべてにおいて高評価であった。寄宿舍職員による生徒への生活指導、余暇指導が保護者への信頼と高評価につながっていると思われる。

低評価・・・自己評価において「Cあまりそう思わない」「Dそう思わない」が2割以上
⇒低評価なし。

(5)学校関係者アンケート n=3/5

- 全て高評価をつけていただいた。今後も地域との交流の活発化を図り、特別支援教育のセンター校としてさらに地域に貢献していけるように取り組みたい。